

『医療機器等における先進的研究開発・開発体制強靱化事業
未来医療プロジェクト』
令和3年度終了課題の事後評価結果

開始年度	終了年度	研究開発代表者	研究代表機関	職名	研究開発課題名
令和元年	令和3年	白土 博樹	北海道大学	教授	【術中】量子線手術(クオンタム・ビーム・サージェリー)と放射線照射後手術における治療術中の迅速な判断・決定を支援するための診断支援機器・システム開発
評価		プロトタイプが出来ており、検証も進んでいる。競合製品が無いというのも良い。今回の開発によって適用範囲が拡大し、ガイドライン化、保険対象の拡大ができると、陽子線治療の普及や施設の拡大につながるため、その成果は医療分野の進展に資するものであり、総合的に計画通りに進捗、成果が得られたことが評価された。			